

世界遺産登録 再チャレンジ

平泉の文化遺産は、平成23年の世界遺産登録を目指して、再チャレンジがスタートしました。このコーナーでは、登録に向けた取り組み状況についてお知らせしていきます。

第7回 文化庁が新たな枠組みを表明

「平泉」の再推薦に係る国際専門家会議（第2回）と推薦書作成委員会（第5回）が4月4日、東京霞が関の文部科学省を会場に開催されました。

2つの会議により「平泉」の主題設定、価値基準の適用について、専門家の意見を集約し、合わせて構成資産の選択についても最終確認が行われました。

主題設定を「複合的性質を持つ日本の仏教思想に基づき、現世に完成した浄土世界」とし、価値基準は「人類の価値の重要な交流（基準）」、「歴史上の重要な段階を物語る建築物、景観を代表する顕著な見本（基準）」、「顕著な普遍的価値を有する、文化的伝統や信仰（基準）」の適用が、現時点では適当であると結論づけました。

構成資産の選択についても意見交換が行われ、証明が確実な構成資産のみを含め、そのほかの資産については、将来的な調査研究の進展を踏まえて「拡張」による段階的な登録を進めることが適当とされました。

平成23年の推薦に当たっては、浄土世界と直接的な緊密性を有する「中尊寺」「毛越寺」「無量光院跡」「金鶏山」が含まれることは確実であり「平泉」の都市造営の核として「柳之御所遺跡」を含めることも十分に可能であることが確認されました。

文化庁は、以上の専門家レベルによる結論を踏まえた上で、県と奥州市、一関市、平泉町の関係3市町との間で事務的協議を行い、奥州市と一関市で住民説明会を開いて意見調整に取り組みました。

4月23日には同庁と県、関係3市町による公式協議を平泉文化遺産センターで開催。構成資産を「中尊寺」「毛越寺」「無量光院跡」「金鶏山」「柳之御所遺跡」の5つとすることについて合意を確認し、新たな枠組みにより推薦書を作成することを表明しました。



構成資産の選択を決めた文化庁・県・3市町による公式協議 = 4月23日、平泉文化遺産センター

平泉を掘る

4月14日に「平泉文化遺産センター」が開館し、旧「平泉郷土館」の発掘出土品の展示も模様替えしました。

今度の展示は年代順（時系列）を中心にしています。出土品も「中尊寺」「毛越寺」「無量光院」の順のケース展示とし、さらに「柳之御所遺跡」「平泉遺跡群（町内の遺跡の全体総称）」を大型ケースにまとめている



4月14日にオープンした平泉文化遺産センターの展示室

発掘最前線⑦

新しくなりましたー発掘出土品の展示ー

す。展示総数は約60点ほどです。

主な展示品を紹介します。「中尊寺」のコーナーでは清衡期の12世紀前半の生活遺物で、建物の格子や火起こし具・へらなどの道具、弓矢のやじり、将棋の駒などを展示しています。「毛越寺」のコーナーでは大泉が池の底から見つかった、ハスの実をかたどったとみられる木製の造花を展示しています。「無量光院」のコーナーでは本堂跡の前面に何十枚と敷き詰められていた埴と呼ばれるタイル状の土板を展示しています。

このほか大型ケースでは「柳之御所遺跡」の陶磁器やチュウギ（くそべら）、瓦などをはじめ、町内各遺跡から出土した暮らしや生産、まじないなどの用具を見ることができます。重要文化財の「白磁水注」や、迫力ある「かわらけの山」、そして直径90センチの大甕も見てごたえがありますので、ぜひご覧ください。

平泉文化遺産センター 及川司

「平泉」世界遺産シンポジウム 新しい枠組みでの「平泉」世界遺産登録に向けて

平成23年の世界遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」の新たな枠組みについて報告し、世界遺産にふさわしいまちづくりや住民主体の取り組みについて、先進事例などから学びます。

日時…5月15日（金）18:00～20:30

場所…平泉文化遺産センター

内容…◎町長あいさつ

「経過とこれからの取り組みについて」

◎基調講演

【講師】野田浩資さん（京都府立大准教授）

【演題】「世界遺産『平泉』

～住民がいかす地域の宝物～」

◎パネルディスカッション

【テーマ】今『平泉』に求められていること」

【コーディネーター】

大矢邦宣（平泉文化遺産センター館長）

【パネラー】

野田浩資さん（京都府立大准教授）

志賀秀一さん（東北地域環境研究室代表）

藤里明久さん（毛越寺執事長）

対象…どなたでも無料で参加できます。（定員150人）

申し込み方法…参加される方の住所、氏名を電話でお知らせください。

申し込み・問い合わせ先…世界遺産推進室 ☎46-2218

世界遺産 推進基金の状況

お知らせします

町では町民の皆さんをはじめ、町内外の各種団体、企業から頂いた寄付金を基金に積み立て、世界遺産登録の推進活動事業へ活用してきました。

平成14年12月に世界遺産推進基金を創設してからの基金の状況を公表します。

◎問い合わせ先…世界遺産推進室 ☎46-2218

1 基金の積立・使用額の状況

（平成21年3月現在・単位：万円）

| 年度 | 寄付積立金 | 使用額 | 累計残高 |
|------|-------|-------|-------|
| 平成14 | 876 | 0 | 876 |
| 15 | 845 | 100 | 1,621 |
| 16 | 835 | 660 | 1,796 |
| 17 | 1,467 | 618 | 2,645 |
| 18 | 3,745 | 1,271 | 5,119 |
| 19 | 666 | 3,130 | 2,655 |
| 20 | 318 | 1,700 | 1,273 |
| 合計 | 8,752 | 7,479 | |

基金を活用し、全国3カ所で開催された特別展「平泉」。写真は東京展4月、世田谷美術館



2 基金を活用した主な事業の内容

（単位：万円）

| 年度 | 事業名 | 主な事業内容 | 使用額 |
|----|-----------------|---------------------------|-------|
| 19 | 世界遺産登録推進事業 | 世界遺産フォーラム開催、英語版史跡ガイドブック作成 | 1,020 |
| | 町内史跡整備活用事業 | 史跡説明板等の設置 | 150 |
| | 特別史跡無量光院跡保存修理事業 | 発掘調査 | 370 |
| | 町内史跡整備調査事業 | 毛越寺庭園整備報告書作成 | 110 |
| | 世界遺産関連景観緊急対策事業 | ガードパイプ・カーブミラーの景観整備 | 600 |
| | 景観形成推進事業 | 景観計画等作成 | 540 |
| | 観光振興費 | 観光ポスター、パンフレット作成 | 230 |
| | 社会教育総務費 | 青少年劇場開催（ミュージカル「義経」） | 110 |
| | 計 | | 3,130 |
| 20 | 世界遺産登録推進事業 | 世界遺産登録推薦書作成、特別展「平泉」負担金 | 1,500 |
| | 町内史跡整備活用事業 | 史跡説明板等の設置 | 200 |
| | 計 | | 1,700 |